

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587026902	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (医療現場の安全と安心) / Safety and relief in the health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石 松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小関 弘展 / Koseki Hironobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石 松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2nd year students		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koseki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	Dept of Health Sciences 3F		
担当教員TEL / Tel	095-819-7961		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thursday am		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	It is aimed to learn and to investigate about various problems occurring in the medical and care field.		
授業到達目標 / Goal	The goal of this seminar is to acquire the knowledge about safety in medical and care field and to master the technique against various concerns. By the end of the course, students have acquired the knowledge in the following.) 1. Locomotive syndrome and Frailty 2. Infection and risk management 3. Complications and malpractice 4. Heredity medical care		
授業方法 (学習指導法) / Method	A series of omnibus lectures is given by instructors. The main methodology of this seminar is an active discussion between the instructor and students followed by the lectures of special topic in the medical field.		
授業内容 / Class outline / Con	To study the latest trends of basic and clinical researches in medical field/ Contents: 1. Locomotive syndrome and Frailty 2. Infection and risk management 3. Complications and malpractice 4. Heredity medical care		
キーワード / Key word	Locomotive syndrome・Frailty・Infection・risk management・Complications・malpractice・ Heredity medical care		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	None specified. Printed or electronic materials will be distributed accordingly		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Reports ; 100%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	None		
アクセシビリティ / Accessibility			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	None		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587026902	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (医療現場の安全と安心) / Safety and relief in the health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小関 弘展 / Koseki Hironobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koseki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医学部保健学科 3 F		
担当教員TEL / Tel	095-819-7961		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日午前中		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医療や介護の現場で起こる諸問題を取り上げ、人間の安心と安全とは何かを学習するとともに、自らの社会生活の中での危機管理に生かす。		
授業到達目標 / Goal	医療や介護現場における安心安全の内容とその背景を知識として習得し、諸問題への対応力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	各教員 (3名) の専門分野で話題になっている事象や諸問題について講義する。必要に応じてグループワークや実技を交え、課題に対する話し合いと発表の場を設ける。担当教員と学生が質問や意見をし合うことで活発な討議を進める。		

	<p>医療技術の進歩は人間の死や疾病への不安を和らげたが、その一方で感染症や救急患者受け入れ拒否問題、患者取替え事件や薬害事件に端的に見られるように安心を損なう医療や介護現場の問題への対応が重要性を増している。医療現場ではこうした問題や医療訴訟にならないためにどのような対応がとられているかを考えることを通して、医療における安心とは何かを問うていく。</p> <p>小関弘展（医学部保健学科教授）：加齢、介護予防、摂食嚥下 生物としてのヒトは加齢による身体的変化を許容しなければならず、日常生活動作が自立できなくなれば介護の対象となる。要介護となれば、基本的行動である移動能力や日常生活動作、摂食嚥下機能が障害され、免疫力低下や呼吸器や循環器などの臓器障害、認知症の発症を惹起し、生命を脅かす状態へと発展する。近年、フレイルやロコモティブシンドロームは国家の基本指針にも盛り込まれ、官民あわせて介護予防に取り組んでいる。人の加齢性変化と介護予防の現場を知り、国民ひとりひとりが取り組むべき課題について討論していく。</p> <p>石松祐二（医学部保健学科教授）：感染症、リスクマネジメント 本邦では経済状況と公衆衛生の向上により、多くの古典的伝染病は減少してきた。また、医療技術の目覚ましい進歩により、従来不可能だった手術や薬物治療が可能となった。一方で、高齢者の増加に伴って免疫力の低下した患者が増加し、従来病原細菌と認識されなかった細菌が臨床の場で大きな問題となっている。発達した交通網によって全世界的に感染症が蔓延する危険も併存する。更に、医療訴訟や個人情報管理などの問題も指摘されている。こうした医療現場を取り巻く諸問題を通して、医療現場の安心について理解を深める。</p> <p>長井一浩（大学病院講師）：医療の不確実性（合併症と医療過誤） 医療技術の高度化は自然科学としての医科学の進歩を基盤としている。しかし、実際の診療現場で行われる医療行為は、患者（ヒト）を対象としているため、学問としての「サイエンス」のみで成り立つものではなく、多種多様なリスクを伴わざるを得ない。本講では、医療現場における合併症や医療過誤とそのマネジメントへの取り組みを供覧することを通じて、現代医療の根底に横たわる「不確実性」とそれを取り巻く医療者・患者・社会間の諸相を考察する。</p> <p>佐々木規子（医学部保健学科助教）：遺伝 遺伝医療は、近年急速に進歩しており、診断、治療、健康管理などにおいて幅広く応用されている。しかし一方で、未だ存在する遺伝に対する偏見や差別、遺伝情報の特殊性により遺伝の問題はより複雑化している。遺伝医療の現状を知るとともに、誰にでも起こり得る遺伝の問題について考える。</p>
授業内容/Class outline/Con	各講師の主な授業内容を示す。
	<p>小関弘展（医学部保健学科教授）：介護と虐待（松坂、佐々木で6回担当） 急速な高齢化に伴い介護を要する高齢者も急増している。特に認知症の高齢者は、従来の予測を大きく上回り、300万人を超え（厚労省推計2012.8）今後も増加が続くと見込まれている。それに伴い、介護の現場では高齢者に対する虐待も増加している。虐待には身体的なものだけでなく心理的・経済的虐待などがある。在宅介護における虐待の背景には介護者の介護疲れや社会的孤立、介護や病気についての知識不足などもあり、高齢者だけでなく介護者への支援も必要となる。「介護と虐待」というテーマを通して「安心して暮らせる社会」についても学習する。</p>
	<p>佐々木規子（医学部保健学科助教）：遺伝相談（松坂、佐々木で6回担当） 近年、急速に進歩する遺伝医療は、診断、治療、健康管理などにおいて幅広く応用され役立てられている。しかしその一方で、未だ存在する遺伝に対する偏見や差別、遺伝情報の特殊性により遺伝の問題はより複雑になる可能性をもっている。遺伝医療の現状を知るとともに、誰にも起こり得る遺伝の問題について考える。</p>
	<p>浦松 正（大学病院助教）：高度医療と安心安全（3回担当） 透析患者数は年々増加傾向にあり、2011年末には30万人を超えた。透析患者は、1回3～5時間の透析を週3回行う人が多く、この週3回の透析の安全性を担保することが重要となる。透析システム、安全な医療用具の供給、スタッフの訓練などにより安全性を高めている。透析医療において患者の安全に対してどのような対応がとられているかを中心に講義する。</p>
	<p>長井一浩（大学病院講師）：医療の不確実性（合併症と医療過誤）（3回担当） 医療技術の高度化は自然科学としての医科学の進歩を基盤としているが、実際の診療現場で行われる医療行為は、そういった「サイエンス」のみで成り立つものではなく、多様なリスクを伴わざるを得ない。本講では、医療現場における合併症や医療過誤とそのマネジメントへの取り組みを供覧することを通じて、現代医療の根底に横たわる「不確実性」とそれを取り巻く医療者・患者・社会間の諸相を考察する。</p>
	<p>梅田正博（歯学部教授）：摂食嚥下と口腔ケア（3回担当） 摂食嚥下は動物が生きるための基本的な行動であるが、加齢や脳血管障害、癌の手術後や放射線治療後など、さまざまな原因で摂食嚥下障害を生じることがある。摂食嚥下障害を生じると栄養摂取上の問題だけではなく、誤嚥性肺炎を生じ生命を脅かすという問題がある。ここでは、医療現場における安全・安心という側面から摂食嚥下を取り上げ、同時に誤嚥性肺炎の予防のために最近一般的になってきた「口腔ケア」についても学ぶ。</p>
キーワード/Key word	医療、加齢、介護、感染症、リスクマネジメント、医療過誤
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はなし。 各単元ごとに講義用資料を提供する。 随時、講義のテーマに関するURLや参考文献を提供する。
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各講義後に提出するレポート（30％）、講義への参加・貢献（30％）、各単元の最終講義時に提示する課題（40％）で総合的に判定して成績評価を行います。 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格となります。
受講要件（履修条件）/Requirements	全学モジュール 「安全で安心できる社会」を受講した学生

アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用です。特に理由がない限り、講義には出席してください。レポートは出席評価にもつながりますので注意してください。</p>

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587027301	科目番号 / Subject code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (社会科学からみた安全・安心) / Safety and security viewed from the social science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nakanishiy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館604号室		
担当教員TEL / Tel	095-820-6354		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールでアポ(nakanishiy@nagasaki-u.ac.jp)を取る		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	産業界(特に航空業界)の実践例の理解を通じて、安全やリスクに関する基本的な考え方を習得 する。		
授業到達目標 / Goal	日常生活において、適切にリスクを回避し安全な行動を取れるようになることを目指す。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義(パワーポイント使用)により基本的な事項を解説した上で、小レポート作成及びグループ演 習、ならびにこれらへのフィードバック・共有を通じて理解の浸透を図る。		
授業内容 / Class outline / Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. プレインストーミング 3. 安全とリスク 4. リスクマネジメント 5. ヒューマンエラー 6. ヒューマンエラー(続) 7. コミュニケーションと安全 8. ヒューマン・マシン・インターフェース 9. 集団作業 10. 組織安全と安全文化 11. レジリエンスと高信頼性組織 12. 事故調査と犯罪捜査 13. 安全のためのヒント 14. 安全に行動するために 15. まとめ 16. テスト 		
キーワード / Key word	安全, リスク, ヒューマンファクター, コミュニケーション, 組織		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	使用しない		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(50%), 授業への参加度(50%)		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ちょっとした心がけと行動で、日常における安全は大きく向上する。そのような行動を身に付けて もらいたい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	プレインストーミング		
第3回	安全とリスク		

第4回	リスクマネジメント
第5回	ヒューマンエラー
第6回	ヒューマンエラー（続）
第7回	コミュニケーションと安全
第8回	ヒューマン・マシン・インターフェース
第9回	集団作業
第10回	組織安全と安全文化
第11回	レジリエンスと高信頼性組織
第12回	事故調査と犯罪捜査
第13回	安全のためのヒント
第14回	安全に行動するために
第15回	まとめ
第16回	テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587027701	科目番号 / Subject code	05870277
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12171_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (工学から見た安全安心(エネルギーと資源)) / Energy and Natural Resources from the Viewpoint of the Engineering		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko, 近藤 智恵子 / Kondou Chieko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	桃木 悟 / Momoki Satoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko, 近藤 智恵子 / Kondou Chieko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	momoki@nagasaki-u.ac.jp, "ckondou@", "tomo@"		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部 1号館 3階 基礎エネルギー工学G研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2528(桃木)/2531(山口)/2527(近藤)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜：5校時 (事前にe-mailで、予約するのが望ましい。)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本のエネルギーのあり方を考えるために、日本のエネルギー事情、資源(食料、化石燃料、レアメタル、鉄など)の今後、国民生活とエネルギー需給、IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかたを、安全の問題を踏まえてテーマとする。		
授業到達目標 / Goal	日本と世界のエネルギーと資源の基本問題が説明できること。自分なりの問題解決策の第1歩を提案できること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教員提示の資料や受講者が集めた資料などに基づき、講義を展開する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	環境問題、化石燃料、原子力、エネルギーの質、地球温暖化、代替冷媒、食料増産		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	担当教員が、適時資料を配布するか、または、受講者各自にdownloadしてもらおうURLを知らせる。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回の講義出席を原則とし、定期試験 (70%)、3回のレポート (30%) で総合評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	アクセシビリティ 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日本は、天然資源のほとんどを外国に依存しているにも関わらず、エネルギーの問題は、1973年および1979年のオイルショックの後にはあまり関心を集めてこなかった。しかし、地球温暖化の問題や東日本大震災を経て、国民の全体の課題として広く関心を集めている。受講者は、常に新聞やテレビなどのメディアが発信するエネルギー関連の情報に常に注意を払い、疑問があったらすぐに自分で調べる態度を続けて欲しい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	概説, 準備, アンケート		
第2回	エネルギーとは: そもそもエネルギーとは何なのか、どのくらい重要なのかについて、それを " 定量的 " に議論する最低限の素養を身につけるための講義を行う。		
第3回	エネルギーの定量的な取り扱いに関する講義の続き。		
第4回	エネルギーに関する歴史: 需要と供給について定量的に考え方を交えながら、エネルギー利用技術と社会の状況に関する歴史について講義する。		
第5回	国内および世界のエネルギー事情 (1): 資源エネルギー庁による最新版のエネルギー白書を参考にここ数年の日本国内のエネルギー事情に関し講義する。		
第6回	国内および世界のエネルギー事情 (2): 日本機械学会動力エネルギー技術部門や日本伝熱学会等、国内外のエネルギーに関連した分野の研究者や技術者の関連動向を踏まえて、最新の状況について講義する。		

第7回	発電効率と一次エネルギー： 発電の方法および効率について理解し，国内技術の現状を知る．エネルギーの安定供給と地球環境に配慮した，一次エネルギーの選択について議論する．
第8回	省エネルギーと環境保全1（建物と自動車） NOAAが提唱する地球温暖化防止のシナリオを達成するための，身近な課題について講義．省エネと温暖化防止のための，建物および自動車の技術開発を取り上げる．
第9回	省エネルギーと環境保全2（ヒートポンプ） ヒートポンプを用いることで一次エネルギー削減になることを，簡単な計算で理解する．地中熱，河川や下水排熱，工場排熱を利用したヒートポンプの応用例について紹介する．
第10回	省エネルギーと環境保全3（ヒートポンプの冷媒問題） ヒートポンプ冷媒やORCの作動流体にはフロンが多様されている．このフロンの及ぼす環境破壊と規制について講義し，最新の開発動向について紹介する．
第11回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group I： 気候変動の概況と予測、およびその科学的根拠を講義する。
第12回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group II： 気候変動の影響を講義する。
第13回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group III： 気候変動の緩和策を議論する。
第14回	IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかた： IPCC評価報告書の社会への影響とさまざまな意見を議論する。
第15回	持続的社会に向けての取り組み： 省エネルギー対策、再生可能エネルギーの開発、原子力の現状などを議論する。
第16回	定期試験